

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	トップアスリートの生体データ自動収集、蓄積、分析ツールを用いたコンディション管理手法の確立と縦断的コンディション評価方法の検討
倫理審査委員会承認番号	2023-033-2
研究開始日	2026年9月3日
研究終了日	2029年3月31日
研究目的	本研究では、大会期間中に得られる客観的および主観的コンディション評価指標をもとに、急性的な応答（試合前後の応答）、経日的な応答（トレーニング期間中の応答）を検討し、有用なコンディション評価指標の抽出、評価方法の妥当性等について後方視的に検証を行うことを目的としています。
研究対象者	日本代表に選出された選手。
研究概要	本研究は大会期間中に取得されたコンディション評価指標を使用します。得られたデータから、急性的な応答（試合前後の応答）、経日的な応答（トレーニング期間中の応答）を検討し、有用なコンディション評価指標の抽出、評価方法の妥当性等について後方視的に検証を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	代表合宿期間中のサポート活動においてJFAが取得した下記のデータ。 1. トレーニングおよび試合時の活動量データ（総移動距離、高強度ランニング距離、高速ランニング距離、スプリント距離、加速・減速回数など） 2. 生理学的データ（体重、運動時心拍数、安静時心拍数および心拍変動、最低心拍数、体温、皮膚温、呼吸数、血中酸素飽和度、尿比重） 3. 睡眠データ（総合睡眠時間、睡眠潜時、睡眠効率、レム睡眠、浅睡眠、深睡眠、中途覚醒） 4. 主観的コンディションデータ（就寝時間、起床時間、起床時の疲労感、睡眠の質、主観的運動強度、筋肉のはり、怪我の有無）
情報の提供先	公益財団法人日本サッカー協会
研究の資金源	なし
研究に係る利益相反及び個人の収益	本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。
研究責任者	中村真理子/スポーツ科学研究部門
共同研究者	星川雅子/スポーツ科学研究部門 清水 潤/スポーツ科学研究部門 三浦智和/デジタル推進室 池田 浩/日本サッカー協会 土肥美智子/日本サッカー協会 御園生 剛/日本サッカー協会 武富修治/日本サッカー協会 松本良一/日本サッカー協会 菊島良介/日本サッカー協会 中條智志/日本サッカー協会 河瀬麻希/日本サッカー協会
問合せ先	中村真理子/スポーツ科学研究部門 03-5963-0238 mariko.nakamura@jpnssport.go.jp